シラバス参照

タイトル「**2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー			
科目名	危機管理学研究演習Ⅲ		
担当教員	岡田　太		
対象学年	2年	開講学期	前期
曜日・時限	時間外		
講義室		単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	—		
科目中分類	修士		
科目小分類	統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	DP2 [学識・専門技能]　災害，テロ，国際紛争等，複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための，法学，政治学，国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能（30%） DP3 [思考力・判断力・表現力]　客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力（50%） DP4 [主体性・多様性・協働性]　多様な価値観や立場を尊重しつつ，自らの明確な考えをもとに，他者とコミュニケーションを確立する能力（20%）		
教員の実務経験	特になし。		
成績ターゲット区分			
科目概要・キーワード	危機管理学とその基礎となる法学に関する研究活動を実践するために，必要な社会科学的研究手法を学び，学生が自ら研究テーマを設定 し，論文を執筆し，成果を発表するための指導を行います。本演習では，危機管理学，法学に関する研究を，修士論文としての形式と実質を備 える段階にまで高めるための応用的なプロセスとして，文献収集や社会調査，事例分析や判例研究を，それぞれテーマ具体的に実施します。 これらの研究プロセスを通じて，学識・専門技能に加え，判断力・思考力・表現力，更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発 することを目的とします。 ■キーワード：中小企業，中小企業のＢＣＰ，ケーススタディ		
授業の趣旨	■副題 中小企業のＢＣＰ（事業継続計画）の普及に向けての課題と提案 ■授業の目的 大企業と比べて導入が遅れている中小企業のＢＣＰについて，中小企業特有の原因を認識・分析し，ケーススタディを行い，多角的な視点から解決策を検討することが目的です。 ■授業のポイント 災害危機管理の実効性を高めるためには，日本企業の大多数を占める中小企業の参加が欠かせません。行政やサプライチェーン，金融機関などがどのようにして中小企業をサポートすれば良いのか－先進的な課題に具体的な提案を行い，議論します。複眼的な思考力を養成します。		
総合到達目標	■設定された課題について，主体的に研究活動に取り組み，仮説検証による実践的な問題解決を提案することができる。 ・中小企業の現状や課題を説明することができる（第１～第３回）。 ・大企業と比べて中小企業のＢＣＰ導入が遅れている原因について説明することができる（第４，第５回）。 ・中小企業のＢＣＰ導入の先進事例を調査し，分析することができる（第６，第７回）。 ・行政やサプライチェーン，金融機関など多様な視点から中小企業のＢＣＰ普及に向けて提案することができる（第８～第１０回）。 ・適切な聴き取り調査を行うことできる（第１２，第１３回）。 ・質疑応答や改善のためのアドバイスなどについて，より高い水準のコミュニケーションを行うことができる。 ・課題に対して，より高い水準のプレゼンテーションとレポート作成を行うことができる（第１１，第１４，第１５回）		
成績評価方法	■授業内の発表・レポートなど(80%) ・中小企業の固有の問題（第３回）（15%）(DP2,3,4) ・中小企業ＢＣＰのケーススタディ（第７回）（25%）(DP2,3,4) ・ 官民連携における災害危機管理の現状と課題についての発表とレポート（第14,15回）（40%）(DP2,3,4) （評価の観点） 発表する内容についての的確な理解，表現技能やコミュニケーション能力について総合的に評価します。 （フィードバックの方法） 各自の研究発表後に，演習中に評価・議論を行います。 ■授業参加(20%) ・発表に対するコメントや意見交換，質疑応答（20%）(DP4) （評価の観点） 発表者に気づきや改善を促すようなものであるかについて評価します。 （フィードバックの方法） 各自の研究発表後に，演習中に適宜評価を行います。		
履修条件	なし。		

履修上の注意点	授業形態は演習形式により行います。なお，対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として，または各授業を補完・代替するためオンライン授業（例：オンラインでの聞き取り調査）を一部取り入れる場合があります。

授業内容

回	内容
1	①授業テーマ 中小企業の現状と課題(1)中小企業とは ②授業概要 中小企業の現状と課題について概要を学びます（講義）(DP2)。 ③予習(120分) 渡辺他(2022)をよく読む。 ④復習(120分) 渡辺他(2022)，中小企業白書などの関連文献を精読する。
2	①授業テーマ 中小企業の現状と課題(2)中小企業政策 ②授業概要 中小企業政策について概要を学びます（講義）(DP2)。 ③予習(120分) 渡辺他(2022)をよく読む。 ④復習(120分) 渡辺他(2022)，中小企業白書などの関連文献を精読する。
3	①授業テーマ 中小企業の現状と課題(3)中小企業特有の問題 ②授業概要 中小企業の特有の問題について発表し，意見交換を行います（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 発表の資料作成。 ④復習(120分) 渡辺他(2022)，中小企業白書などの関連文献を精読する。
4	①授業テーマ 中小企業状とBCP(1)リスクマネジメント概説 ②授業概要 企業リスクマネジメントの概要を説明し，企業規模の違いがどのような影響を及ぼすのか検討します（講義・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 後藤(2018)をよく読む。 ④復習(120分) 関連文献を精読する。
5	①授業テーマ 中小企業状とBCP(2)BCPの概要 ②授業概要 BCPの概要と中小企業白書等を参考に，ＢＣＰを導入する先進的な中小企業について紹介し，ＢＣＰ普及のための課題を抽出します（講義・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 阿部(2023)をよく読む。 ④復習(120分) 関連文献を精読する。
6	①授業テーマ 中小企業状とBCP(3)ケーススタディの作成 ②授業概要 ＢＣＰを導入する中小企業のケーススタディを作成するために，聴き取り調査を行います（議論・分析）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) ケーススタディの準備。 ④復習(120分) 調査を整理し，ケーススタディをまとめる。
7	①授業テーマ 中小企業状とBCP(4)ケーススタディの発表 ②授業概要 ケーススタディの発表と意見交換を行います（講義・議論）(DP2,3,4) ③予習(120分) 発表資料の作成 ④復習(120分) ケーススタディの深堀り関連文献の精読

	8	①授業テーマ ＢＣＰを中小企業に普及させるための課題(1)行政（法制度） ②授業概要 行政（法制度）の視点から考察し，意見交換を行います（講義・議論）(DP2,3,4) ③予習(120分) 渡辺(2022)，阿部(2023)，中小企業庁(2019)その他関連文献をよく読む。 ④復習(120分) 関連文献を精読する。
	9	①授業テーマ ＢＣＰを中小企業に普及させるための課題(2)サプライチェーン ②授業概要 サプライチェーンの視点から考察し，意見交換を行います（講義・議論）(DP2,3,4) ③予習(120分) 渡辺(2022)，阿部(2023)，中小企業庁(2019)，青地(2018)その他関連文献をよく読む。 ④復習(120分) 関連文献を精読する。
	10	①授業テーマ ＢＣＰを中小企業に普及させるための課題(3)金融機関 ②授業概要 金融機関の視点から考察し，意見交換を行います（講義・議論）(DP2,3,4) ③予習(120分) 渡辺(2022)，阿部(2023)，中小企業庁(2019)その他関連文献をよく読む。 ④復習(120分) 関連文献を精読する。
	11	①授業テーマ 研究発表の準備(1)概要書の作成 ②授業概要 これまでの授業をふまえて，課題について発表するためのアウトラインを作成し，意見交換を行います（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 資料作成 ④復習(120分) 資料作成と文献調査
	12	①授業テーマ 研究発表の準備(2)聞き取り調査計画 ②授業概要 課題発表に向けての聞き取り調査計画を立て，意見交換を行います（発表・議論）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 調査計画の作成 ④復習(120分) 調査の精査と文献調査
	13	①授業テーマ 研究発表の準備(3)聞き取り調査の実施 ②授業概要 聞き取り調査を実施します（議論・分析）(DP2,3,4)。 ③予習(120分) 調査項目の再確認 ④復習(120分) 調査内容の整理，文書化
	14	①授業テーマ 研究発表(1)中間発表 ②授業概要 中間発表を行い，意見交換を行います（発表・議論）(DP2,3,4) ③予習(120分) 資料作成 ④復習(120分) 修正と追加調査
	15	①授業テーマ 研究発表(2)最終発表 ②授業概要 最終発表を行い，意見交換を行います（発表・議論）(DP2,3,4) ③予習(120分) 資料作成 ④復習(120分) 修正とレポート（小論文）の完成，提出
関連科目	「危機管理学研究演習Ⅰ（R5MR0029）」，「危機管理学研究演習Ⅱ（R5MR0030）」，「危機管理学研究演習Ⅳ（R5MR0032）」	

教科書	阿部裕樹(2023)『中小企業と小規模事業者のBCP導入マニュアル（第２版）』中央経済社 後藤茂之(2018)『ERMは進化する－不確実性への挑戦』中央経済社 渡辺幸男他(2022)『21世紀中小企業論』有斐閣.
参考書・参考ＵＲＬ	青地忠浩(2018)「サプライチェーンリスクマネジメントのフレームワークと実例」『LCA学会誌』第14巻第4号, pp.256-266. 佐竹隆幸・関智宏(2021)『中小企業政策論』関西学院大学出版会、第７章・第８章 中小企業庁(2019)「「中小企業強靭化法」の概要について」 https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/kenkyukai/kyoujin/2019/190614kyoujin03.pdf 中小企業庁「中小企業白書」各年版 リスク対策.com(2023)『防災・BCPの年間分析レポート　危機管理白書2024年版』ムック その他，適宜，必要な文献を紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に伝えます。 ■オフィスアワー 授業の前後，質問や相談に応じます。それ以外の時間帯については，メールで事前にアポイントメントを取ることにより，原則オンラインで対応します。
研究比率	

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.